

2025年6月27日 NO.143号 障害児・者サークル通信

発行：性教協★障害児・者サークル事務局
一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）本部・事務局
〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目7番16号 初台ハイツ1006号
HP <https://shogaiji-sha.seikyokyo.org>



●特集 きいて、きいて！	
困った！どうしよう？悩める実践特集①	1
困った！どうしよう？悩める実践特集②	3
●ここからカフェの報告	4
●連載（第10回）「軽度知的しょうがいの青年たちの恋愛、性交、出産、子育て」（最終回）	5
●「障がいと生きる」青年たちの今から	7
●お知らせ	8

特集：きいてきいて 困った！どうしよう？悩める実践

前回から新たなコラムとして始まった『きいてきいて！』のコーナー。障がい当事者、親、支援者など様々な立場の人たちが性教育に関すること、自分のこととからだに関することについてめいめいに語る場として、皆さんに気軽につぶやきを送ってください！ということで始めました。

今回はこのコーナーを特集として、実践者が日ごろの実践の中で感じている本当にこれでいいのかな？という疑問や悩みを『きいてきいて！』で語っていただきます。

全国で実践を頑張っている人たちの報告を聞きたい、学びあう機会としてもっと実践を出しあうことができないか、という声が聞かれるなか、まだまだ実践報告としてまとめるに至っていない。こんな時どんなふうに声をかけたらいいか、どのように取り組んだらよかったか悩みながら進めている。という方が多いことが分かってきました。まだ実践半ばだから報告はできない、ではなく、こうした悩みを共有しみんなで考えあうことこそ、私たちの学びが広がり、深まっていくのではないかとこのころから、今回は今取り組んでいることの悩んでいること、行き詰まっていることも含めて、もっと実践を気軽に相談できる場があったらいいな、ということで、この特集に取り組むことになりました。

その第一弾として、今回2名の方の「きいてきいて！」を取り上げます。対話式にできたらいいというご意見もあり、それぞれの実践にはコメントもいただいています。皆さんのご意見やご感想などもお届けいただき、すてきな学びあいの機会にしていけたらと思います。また、同じように聞いて欲しいことのある方も是非、短い文でも構いませんので、ご自身の実践をお送りください。

実践① 「困っています」悩める実践あれこれ

◎「受精卵ができるしくみ」での授業

1. 「別々のからだの中にある卵子と精子は、どうやって会えるのだろう？」と問いかけ、「空気に触れたら死んでしまうんだ。どうしたらより安全に出会えそう？」と考えるヒントを足していきます。
2. 「勃起したペニスが、ワギナに入って、射精します（精子のペープサート）。これが性交って言うよ。」

